

令和 7 年度第 3 海兵機動展開部隊との共同訓練 (アイアン・フィスト 26) について

令和 8 年 1 月
防 衛 省

令和7年度第3海兵機動展開部隊との共同訓練 (アイアン・フィスト26)について

【演習の目的】

陸上自衛隊と日本に駐留する米海兵隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により演練し、共同対処能力の向上を図ることを目的としております。

【演習の沿革】

- 本演習は、平成17年度から令和3年度までの間、米国キャンプ・ペンドルトンで米第1海兵機動展開部隊との共同訓練として実施されてきました。
- 令和4年度から、日本国内において米第3海兵機動展開部隊と訓練を実施しています。

【演習の実施場所及び期間】

(※) 本期間の前後に、それぞれ約1週間で準備・撤収を実施します。

令和8年2月11日(水)～3月9日(月)までの間、山口県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の下記の場所及び期間における訓練の実施を計画しています。

- 山口県：2月11日(水)～3月7日(土) 岩国飛行場
- 佐賀県：2月11日(水)～3月7日(土) 目達原駐屯地
- 長崎県：2月21日(土)～25日(水)、3月2日(月)～7日(土) 相浦駐屯地、福江空港
2月11日(水)～25日(水)、3月2日(月)～7日(土) 福江島分屯基地着陸場
2月21日(土)～25日(水) 大村航空基地
- 熊本県：2月11日(水)～3月7日(土) 高遊原分屯地
- 宮崎県：2月11日(水)～2月13日(金)、21日(土)～25日(水)、3月2日(月)～5日(木) 霧島演習場
- 鹿児島県：2月11日(水)～2月13日(金)、21日(土)～25日(水)、3月2日(月)～5日(木) 霧島演習場
3月1日(日)～3月4日(水) 種子島(又は奄美大島(※奄美大島は予備地として設定))
- 沖縄県：2月14日(土)～3月9日(月) キャンプ・ハンセン、中部訓練場、金武ブルー・ビーチ訓練場、
金武レッド・ビーチ訓練場、久志クロッシング
2月17日(火)～3月9日(月) キャンプ・シュワブ(海域のみ)
2月17日(火)～3月7日(土) ホワイトビーチ
2月14日(土)～3月9日(月) キャンプ・コートニー
2月11日(水)～3月7日(土) 普天間基地
2月23日(月)～3月7日(土) 出砂島射爆撃場 ※日曜日を除く。
2月11日(水)～3月7日(土) 伊江島補助飛行場
2月11日(水)～3月7日(土) 那覇基地

【演習の内容】

- 日米共同での指揮機関訓練【キャンプ・ハンセン、キャンプ・コートニー】
- 航空機を用いた日米共同での統合火力誘導訓練【出砂島射爆撃場】
- 日米共同飛行
 - 【飛行：九州周辺空域】 【降着：岩国飛行場、目達原駐屯地、高遊原分屯地、霧島演習場】
- 日米共同による人員・物資の搭載・卸下訓練等【相浦駐屯地、大村航空基地、高遊原分屯地、霧島演習場】
- 陸自による人員・物資の搭載・卸下訓練等
 - 【福江空港、福江島分屯基地着陸場、相浦駐屯地、大村航空基地、霧島演習場】
- 着上陸訓練
 - ・ 海上機動（偵察用ボート、水陸両用車（AAV）、ホバークラフト（LCAC）及び護衛艦、輸送艦・揚陸艦）による日米共同での着上陸訓練【種子島又は奄美大島、金武ブルー・ビーチ訓練場、金武レッドビーチ訓練場、キャンプ・ハンセン（久志クロッシング）、キャンプ・シュワブ（海域のみ）】
 - ・ 空中機動による日米共同での着上陸訓練
 - 【種子島又は奄美大島、キャンプ・ハンセン（久志クロッシング含む）、キャンプ・シュワブ（海域のみ）及び金武ブルー・ビーチ訓練場】
- 着上陸した部隊による日米共同での陸上戦闘訓練【種子島又は奄美大島、キャンプ・ハンセン】
- 日米共同での小火器を用いた実弾射撃訓練及び爆破訓練【キャンプ・ハンセン】
- 日米共同での施設機材を使用した訓練、障害処理訓練、兵站・衛生訓練及び通信訓練
 - 【キャンプ・ハンセン、金武ブルー・ビーチ訓練場及び金武レッド・ビーチ訓練場】
- 日米共同での水際障害処理訓練、海自による機雷処理訓練
 - 【金武ブルー・ビーチ訓練場、金武レッド・ビーチ訓練場、ホワイトビーチ】
- 空挺降下訓練【伊江島補助飛行場】

訓練予定地域



キャンプ・ハンセン等の使用について（1 / 2）

キャンプ・ハンセン／中部訓練場（久志クロッシングを含む。）においては、2回に分けて訓練を実施します。1回目の訓練（事前訓練）は、指揮機関訓練、陸上戦闘訓練（実弾射撃訓練を含む。）、施設訓練、兵站・衛生訓練及びヘリの飛行訓練を日米共同で実施します。2回目の訓練（総合訓練）では、日米共同の着上陸及び着上陸に引き続く陸上戦闘訓練を実施します。

なお、航空機の運用にあたっては、入試・卒業式に十分配慮して実施します。

#1 訓練：事前訓練（令和8年2月14日（土）～2月26日（木））

【参加予定部隊】自衛隊：陸上自衛隊		約500名（水陸機動団、第1ヘリ団、西方航空隊、システム通信団、電子作戦隊、301電子戦中隊、V-22×2機程度、CH-47×4機程度、AH-64D×4機程度、OH-1×1機程度、UAV狭域用×2機、偵察用ポート×30艇、LCAC×2艇程度等）
米 軍：米海兵隊		約700名（31MEU、MV-22×4機程度、UAV×4機程度）
#2 訓練：総合訓練（令和8年2月27日（金）～3月9日（月））		
【参加予定部隊】自衛隊：陸上自衛隊		約500名（水陸機動団、第1ヘリ団、第8師団、西方航空隊、システム通信団、電子作戦隊、301電子戦中隊、V-22×2機程度、CH-47×4機程度、AH-64D×4機程度、OH-1×1機程度、AAV×10両、UAV狭域用×4機、偵察用ポート×30艇程度）
海上自衛隊		約400名（護衛艦×1隻、輸送艦×1隻、LCAC2隻）
米 軍：米海兵隊		約700名（偵察用ポート×30艇程度、CH-53×4機程度、MV-22×4機程度、AH-1×2機程度、UH-1×2機程度、UAV×4機程度）
米海軍		約200名（揚陸艦×3隻程度、LCAC2隻）（人数・機数は、現時点で予定されている数）

#1 訓練：事前訓練（2月14日（土）～2月26日（木））

中部訓練場

（陸上戦闘訓練（実弾射撃を含む。）、施設、兵站・衛生、ヘリの飛行、UAV訓練等）



陸上戦闘訓練



施設訓練



兵站・衛生訓練



ヘリの飛行訓練



UAV訓練



【凡 例】
 訓練使用地域

久志クロッシング

（AAVによる上陸訓練）



AAVの上陸訓練

キャンプハンセン

（指揮機関訓練、シミュレータ訓練）



指揮機関訓練

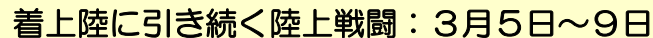


シミュレータ訓練
（火力誘導）

- 上記訓練期間の前後10日間程度で準備・撤収を実施します。
- 準備の一環として、2月1日～3日の内1日をもって、事前にAAVを中部訓練場に推進させます。（AAVは、佐世保で米艦艇に搭載後、金武沖で米艦艇から発進し、久志クロッシングから中部訓練場に進入します。）
- 陸上戦闘訓練（実弾射撃を含む。）は夜間も含めて実施します。
- 本訓練間、キャンプハンセン内及び中部訓練場内に訓練部隊が宿泊します。
- UAVは中部訓練場内のみを飛行し、他の基地からの飛行等はありません。
- 航空機の運用にあたっては、民間地に隣接するヘリパッドは使用しません。

#2訓練：総合訓練（2月27日（金）～3月9日（月））

日米共同の着上陸：2月27日～3月5日



- 着上陸は、夜間を含めて実施します。
- 着上陸は気象・海象の状況により、前後する可能性があります。
- 着上陸時、中部訓練場内において、電子戦部隊による電磁波作戦訓練（上陸部隊に対する電波情報の収集等）及び情報部隊による沿岸監視訓練（上陸部隊に対する情報収集等）を実施します。
- AAVが上陸する際、煙幕を使用します。（1回の煙幕で約50～100mの範囲に煙が展開されます。）
- AAVの航行にあたっては、漁網等に十分注意し航行します。（万が一、故障等の不測の事態が発生した場合は、最寄りの砂浜に上陸させていただく可能性があります。）
- 陸上戦闘は昼夜を通じて実施します。
- 本訓練間、日米のUAV×8機程度を飛行させます。（UAVは中部訓練場内及び金武ブルービーチ沖合を飛行し、他の基地からの飛行はありません。）
- 航空機の運用にあたっては民間地に隣接するヘリパッドは使用しません。
- 陸上戦闘間、空包・火工品を使用します。（実弾は使用しません。）
- 2月27日～3月5日の間、敵役の部隊（陸自隊員）が、中部訓練場内で陸上戦闘訓練準備等を実施します。
- 3月9日以降、撤収等を実施します。（訓練が早く終了した場合は、撤収を前倒すことがあります。）

久志クロッシング（湯原進入路）通行にあたっての配慮事項



※1 国道329号線の通過要領

- 民間車両の通行の妨げにならないよう、夜間（21時以降）、当時の交通状況に応じた車両区分に分けて（1台ずつ等）通行します。
- 車両の接触事故等を未然に防止し、交通安全に万全を期すため、国道の上下線に誘導員、安全員等を配置します。
- 道路を汚さないよう、通行にあたっては、事前に車両の足回りを洗車するとともに、使用後に清掃を実施します。
- 特に水陸両用車（AAV）の通行にあたっては、履帯による道路損傷を防止するため、上陸当初からゴムパッドを装着するとともに、徐行運転を徹底する等、細心の注意を払って通行します。この際、洗車を待っているAAVは、すべりの手前で待機します。

※2 沖縄自動車道高架橋の通過要領

アスファルト舗装部の通行にあたっては、事前に敷板（ゴム板）を設置する等、履帯による道路損傷を防止する処置を講じます。

金武レッド・ビーチ訓練場の使用について

金武レッド・ビーチ訓練場においては、水際障害処理訓練、ヘリからの偵察用ボートの卸下、偵察用ボートの航行及び上陸を実施します。

なお、航空機の運用にあたっては、入試・卒業式に十分配慮して実施します。

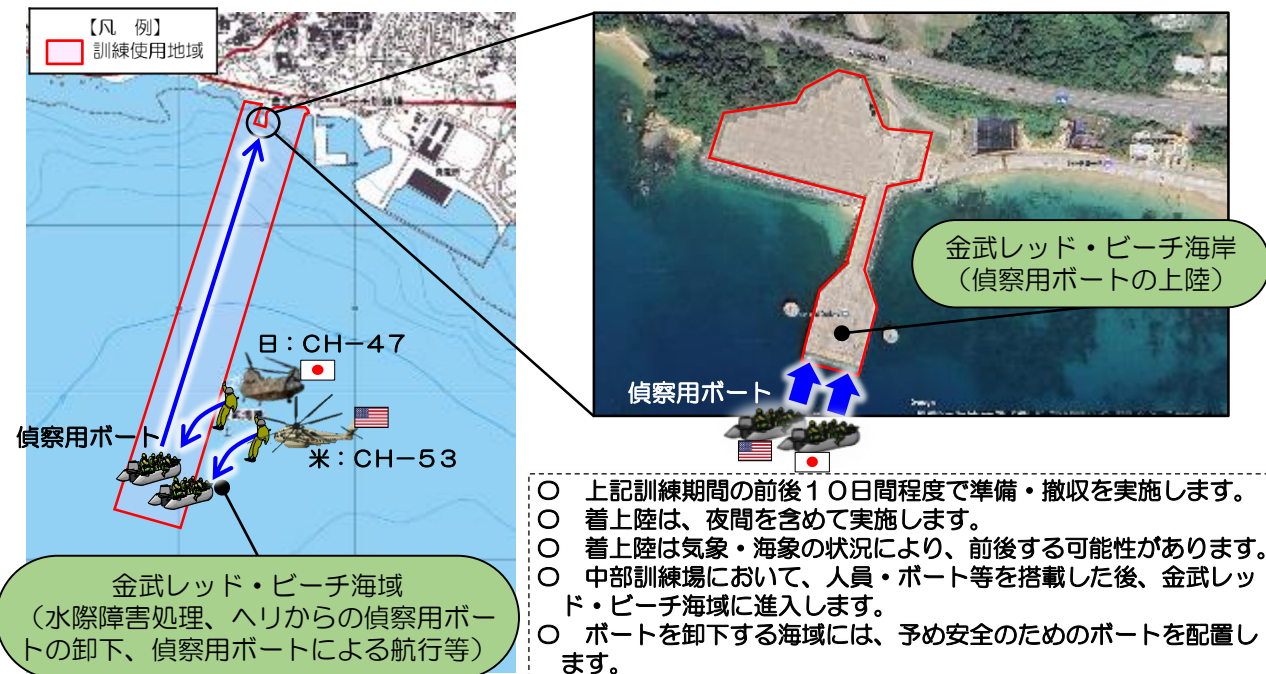
【期 間】 令和8年2月17日（火）～3月7日（土）（訓練の実施は左記期間中、内10日程度）

【参加予定部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約20名（水陸機動団、第1ヘリ団、偵察用ボート×5艇、CH-47×2機程度等）

米 軍：米海兵隊 約20名（31MEU、偵察用ボート×3艇、CH-53×1機程度等）

（人数・機数は、現時点で予定されている数）

訓練予定場所



訓練イメージ



ヘリからの偵察用ボートの卸下



偵察用ボートの航行

金武ブルー・ビーチ訓練場の使用について（１／２）


金武ブルー・ビーチ訓練場においては、２回に分けて訓練を実施します。１回目の訓練（事前訓練）では、着上陸訓練及び兵站・衛生訓練を日米共同で実施します。２回目の訓練（総合訓練）では、日米共同の着上陸及び兵站・衛生訓練を実施します。また、事前訓練・総合訓練共通で、機雷処理訓練及び水際障害処理訓練を実施します。

なお、航空機の運用にあたっては、入試・卒業式に十分配慮して実施します。

#１訓練：事前訓練（令和８年２月１４日（土）～２月２６日（木））		
【参加予定部隊】	自衛隊：陸上自衛隊	約１００名（水陸機動団、偵察用ボート×３０艇程度）
	海上自衛隊	約１００名（掃海隊群、掃海艦艇×２隻程度、LCAC２艇程度）
米 軍：	米海兵隊	約１００名（３１MEU、偵察用ボート×３０艇程度）
	米海軍	約５０名
#２訓練：総合訓練（令和８年２月２７日（金）～３月９日（月））		
【参加予定部隊】	自衛隊：陸上自衛隊	約５００名（水陸機動団、第１ヘリ団、西方航空隊、第８師団、AAV×１０両、 偵察用ボート×３０艇、AH-64D×４機程度、OH-1×１機程度、 CH-47×４機程度、V-22×２機程度、UAV狭域用×２機程度）
	海上自衛隊	約４００名（護衛艦×１隻、輸送艦×１隻、LCAC×２艇程度 等）
米 軍：	米海兵隊	約７００名（偵察用ボート×３０艇、MV-22×４機程度 CH-53×４機程度、 AH-1×２機程度、UH-1×２機程度、ACV×１０両 等）
	米海軍	約２００名（揚陸艦×３隻程度、LCAC×２艇程度 等）
共 通：機雷処理訓練及び水際障害処理訓練（令和８年２月１７日（火）～３月７日（土））		
【参加予定部隊】	自衛隊：陸上自衛隊	約１００名（水陸機動団、偵察用ボート×１０艇 等）
	海上自衛隊	約２００名（護衛艦×１隻、輸送艦×１隻、掃海艦艇×２隻 等）
米 軍：	米海兵隊	約１００名（３１MEU）
	米海軍	約２００名（揚陸艦×３隻程度 等）
(人数・機数は、現時点で予定されている数)		

金武ブルー・ビーチ訓練場の使用について(2/2)

#1 訓練：事前訓練(2/14~26)

【凡 例】
 訓練使用地域

金武ブルー・ビーチ海岸
 (兵站・衛生訓練)

兵站施設の開設・運営

金武ブルー・ビーチ海域
 (着上陸訓練)



着上陸訓練
 (CRRC・AAV)

偵察用
 ポート

AAV

○上記訓練期間
 の前後10日間
 程度で準備・撤
 収を実施します。
 ○着上陸は、夜
 間を含めて実施
 します。
 ○着上陸は気
 象・海象の状況
 により、前後す
 る可能性があります。

#2 訓練：総合訓練(2/27~3/9)

総合訓練は、艦艇に対する人員・装
 備品の搭載、艦艇による航行、日米共
 同の着上陸、着上陸に引き続く陸上戦
 闘に区分され、このうち、金武ブ
 ルー・ビーチでは、日米共同の着上陸
 及び着上陸に引き続く陸上戦闘の一環
 として兵站・衛生訓練を実施します。



偵察用ポートの航行



AAVの航行



LCACの航行



ヘリの飛行



金武ブルー・ビーチ海岸
 (偵察用ポート・AAV・LCACの上陸、航空機
 の降着、兵站・衛生訓練、沿岸監視・宿営)

金武ブルー・ビーチ海域
 (偵察用ポート・AAV・
 LCACの航行、沿岸監視)

○着上陸は、夜間を含めて実施
 します。
 ○着上陸は気象・海象の状況に
 より、前後する可能性があります。
 ○着上陸時、情報部隊による沿
 岸監視訓練(上陸部隊に対する
 情報収集等)を実施します。
 ○情報部隊は、海岸に宿営し、
 入浴等のため一般施設を利用し
 ます。
 ○AAVが上陸する際、煙を使用
 します。



共通：機雷処理訓練及び水際障害処理(2/17~3/7)

 : 訓練使用地域
 : 訓練機雷設置海域

- 上記訓練期間の前後10日間程度で準備・撤収を実施します。
- 模擬の訓練用機雷を海中に設置します。(火気、爆発音は発生しません)(大きさ約0.5m×1.7mの訓練用機雷を、金武ブルービーチ沖の約4900m×3900mに15個程度設置します。)
- 訓練は、気象・海象の状況により夜間に及ぶことがあります。
- 艦艇の通常航行のため、左記の訓練地域外を艦艇が航行することがあります。

金武ブルー・ビーチ海域
 (機雷処理・水際障害処理)



掃海艦艇

水際障害処理訓練
 (ダイバーの処理)

訓練イメージ▶

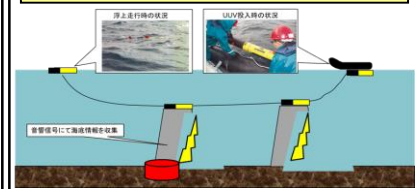
① 掃海艦艇による機雷掃討



③ 潜水員による機雷掃討



② 水中無人機(UUV) 搜索



④ 掃海された海域への進入・上陸



ホワイトビーチの使用について

ホワイトビーチにおいては、港湾施設における艦艇への搭載・卸下、沿岸部における水際障害処理訓練、機雷処理訓練を実施します。

【期 間】 令和8年2月17日（火）～3月7日（土）（内、搭載及び卸下で1日ずつ使用）

【参加予定部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約500名（水陸機動団、偵察用ボート×10艇、レーザ計測ドローン×1機 等）

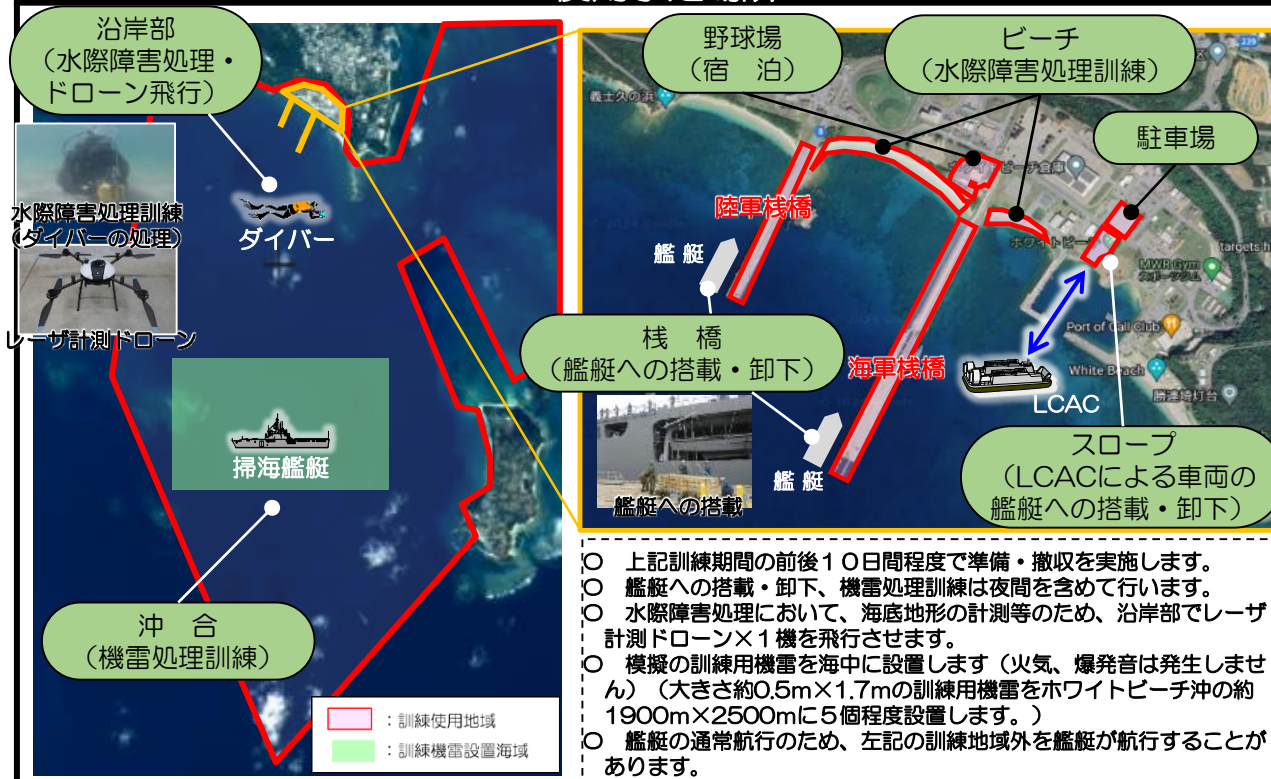
海上自衛隊 約200名（護衛艦×1隻、輸送艦×1隻、掃海艦艇×2隻、LCAC×2艇 等）

米 軍：米海兵隊 約600名（31MEU）

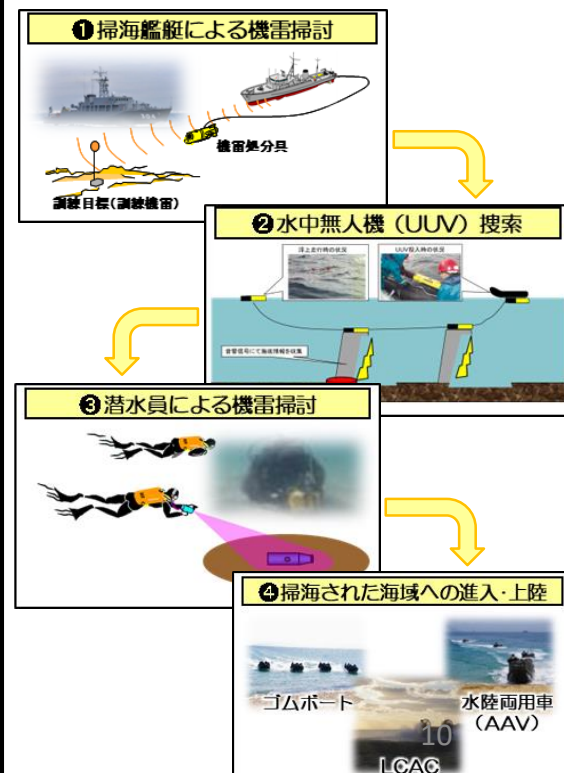
米海軍 約200名（揚陸艦×3隻程度、LCAC×2艇程度 等）

※ 人数・機数は、現時点で予定されている数

使用予定場所



訓練イメージ



キャンプ・コートニーの使用について

キャンプ・コートニーにおいては、日米共同の調整所を開設し、指揮機関訓練を実施します。

【期 間】 令和8年2月14日（土）～3月9日（月）

【参加予定部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約50名（陸上総隊司令部、水陸機動団、ヘリ団、システム通信団、電子作戦隊）

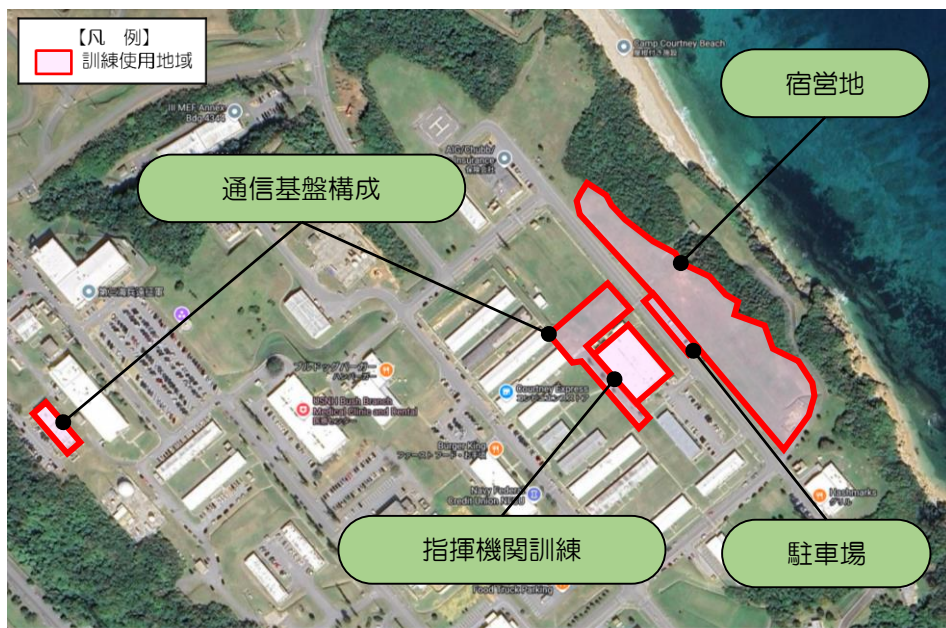
海上自衛隊 数30名（掃海隊群）

米 軍：米海兵隊 約50名

米海軍 数30名

※ 人数・機数は、現時点で予定されている数

訓練予定場所



○ 上記訓練期間の前後10日間程度で準備・撤収を実施します。

訓練イメージ



計画作成



会議の景況



日米共同での調整



伊江島補助飛行場の使用について

伊江島補助飛行場においては、空挺降下訓練を実施します。

また、沖縄本島における入試、卒業式等の状況に応じて、一時的に日米航空機の退避又は中継点として使用します。この際、伊江島における卒業式等の状況にも十分配慮します。

【期 間】 令和8年2月11日（水）～3月 7日（土）（訓練の実施は左記期間中、内4日程度）
 【参加予定部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約30名（第1空挺団、第1ヘリコプター団及び西部方面航空隊、V-22×2機程度、CH-47×4機程度、AH-64D×2機程度、OH-1×1機程度）
 米 軍：米海兵隊 約30名（第3偵察大隊、MV-22×4機程度、CH-53×4機程度、及び米陸軍 AH-1×2機程度、UH-1×2機程度）
 ※ 人数・機数は、現時点で予定されている数

訓練予定場所



航空機の運用、空挺降下は、気象状況により夜間に及ぶことがあります。

訓練イメージ



空挺降下

出砂島射爆撃場の使用について

出砂島射爆撃場においては、日米共同での統合火力誘導訓練を実施します。本訓練は、日米の火力誘導員が、米固定翼機（F-35）による空対地爆撃（不活性模擬弾）及び日米回転翼機（AH-64D等）による射撃（実弾）を、弾着地上の所望の目標に誘導するものです。

【期 間】 令和8年2月23日（月）～3月 7日（土）※ただし、日曜日は除く。

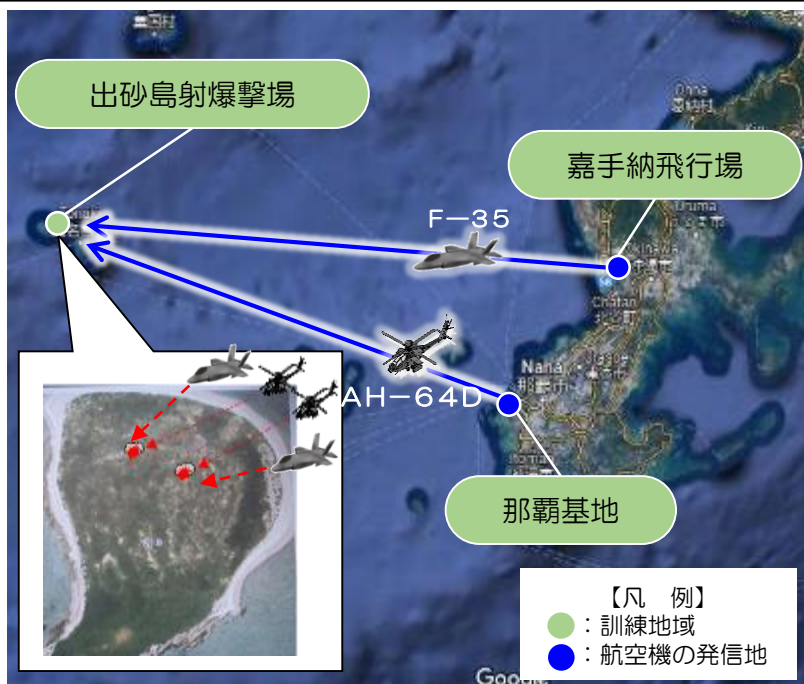
【参加予定部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約30名（第1空挺団、水陸機動団、第1ヘリコプター団、西方航空隊、AH-64D×2機程度、OH-1×1機程度、CH-47×2機程度）

米 軍：米海兵隊等 約20名（31MEU、F-35×2機程度、UH-60×2機程度、UH-1×2機程度、

AH-1×2機程度、CH-53×2機程度）

※ 人数・機数は、現時点で予定されている数

訓練予定場所



日米航空機による射撃は夜間を含めて実施します。

訓練イメージ



日米火力誘導員による火力誘導



不活性模擬弾の弾着



AH-64Dによる射撃

那覇基地の使用について

那覇基地においては、中部訓練場等において実施する日米共同の対着上陸戦闘訓練等に参加する陸自航空機の航空基盤として、駐機、燃料補給、整備、計画作成等を実施します。

なお、航空機の運用にあたっては、入試・卒業式に十分配慮して実施します。

【期 間】令和8年2月11日（水）～3月 7日（土）

【参加予定部隊】自衛隊：陸上自衛隊 約200名（第1ヘリコプター団及び西部方面航空隊、V-22×2機程度、CH-47×5機程度、AH-64D×4機程度、OH-1×1機程度）

※ 人数・機数は、現時点で予定されている数

使用予定場所



航空機の運用は、気象状況により夜間に及ぶことがあります。

訓練イメージ



航空機への燃料補給・整備

普天間飛行場の使用について

普天間飛行場においては、中部訓練場等において実施する日米共同の対着上陸戦闘訓練等に参加する日米航空機の航空基盤として、駐機、燃料補給、整備、計画作成等を実施します。

なお、航空機の運用にあたっては、入試・卒業式に十分配慮して実施します。

【期間】 令和8年2月11日（水）～3月 7日（土）

【参加予定部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約50名（第1ヘリコプター団、V-22×2機程度）

米 軍：米海兵隊 約300名（31MEU、MV-22×4機程度、CH-53×2機程度、
AH-1×2機程度、UH-1×2機程度）

※ 人数・機数は、現時点で予定されている数

使用予定場所



航空機の運用は、気象状況により夜間に及ぶことがあります。

訓練イメージ



航空機への燃料補給・整備